取付説明書［本体用］

SSDポータブルナビゲーション
車載用取付キット・パーキングブレーキ接続ケーブル
12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル

品番　**NV-JM520DT**

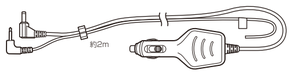
付属品の確認

［　］内はサービス販売部品コードです。
新たにご購入の際は、［　］内の10桁のコードでご注文ください。

車載用取付キット一式

スタンドベース［661 131 8664］	コードクリップ［661 109 5169］	タッピングビス（M4×12）［411 191 1200］	クッション材［661 109 5176］	クリーナー［661 109 3622］
1個	3個	3本	1個	1枚

パーキングブレーキ*接続ケーブル・12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル



上記イラストは梱包状態のイラストです。
新たにご購入の際は、各部品のサービスコードでご注文ください。（右記参照）
※3点全てご注文されても上記イラストのように束ねられていません。

12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル［661 158 6971］

パーキングブレーキ接続ケーブル［661 166 1678］

クリップ［661 143 8232］

※上記記載の"m"は部品のおおよその長さを表しています。
＊パーキングブレーキはサイドブレーキ（ハンドブレーキ）／フットブレーキと同一の意味を表します。

セルフロックコネクター［632 635 1116］

1個

クリップ［661 143 8232］

2個

お客様の用途に応じて12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルと、パーキングブレーキ接続ケーブルを束ねるときにご使用ください。

クリップの取り付け／取り外しについて

作業が困難な場合は、本機または車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
（作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。）

SSDとはSolid State Device（ソリッドステートデバイス）の略で地図データの記録媒体として（大容量）フラッシュメモリーを使用したものです。

三洋電機株式会社
三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
車載機器事業部
〒680-8634　鳥取県鳥取市立川町7丁目101

Printed in Japan　　2RR6P12A60100

ナビゲーションの取り付け位置について

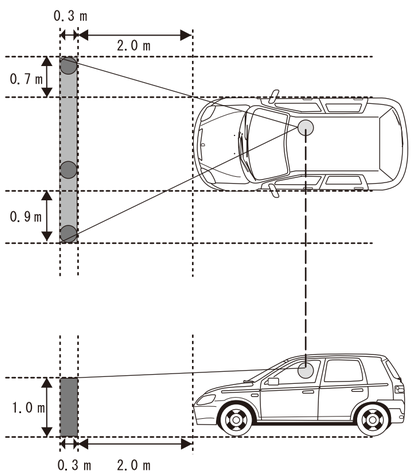
国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正（平成17年1月1日）に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けられました。
ダッシュボード上に機器を取り付ける際は、下記イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準

■ 対象車種
① 専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
② 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■ 基準概要
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。

上面図



側面図

※イラストは右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。

取付位置／取付寸法について

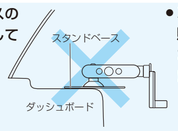
■ 取付位置について

エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
（取付位置の安全性を考慮し、販売店にご相談の上、取付位置を決めてください。）

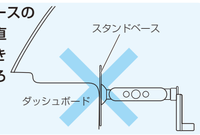
必ず指定のスタンドを使用してください。

下記のような不安定な場所には取り付けないでください。

●スタンドベースの貼付面が安定していないところ



●スタンドベースの貼付面が垂直または下向きになるところ



※取り付け後は定期的に貼り付け状態を確認してください。

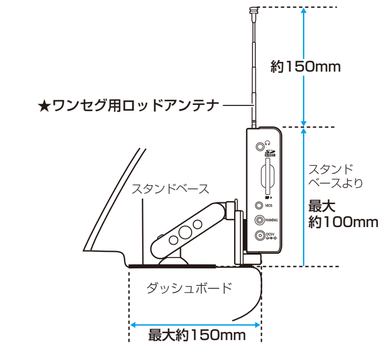
禁止　運転や視界の妨げになる場所には絶対に取り付けない。

禁止　エアバッグやカバー部分および、作動の妨げになる場所には絶対に取り付けない。

■ 取り付ける前に必ずお読みください。
- 本体の取り付けには下記サイズの取り付けスペースが必要です。
- スタンドベースを取り付ける前に、取り付ける位置を決めてください。
- 別売のGPS外部アンテナを車内に取り付けると電波を正確に受信できない場合がありますので、できるだけ車外に取り付けてください。

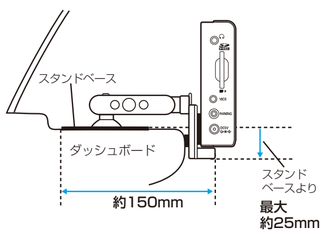
■ 本体の取付寸法について

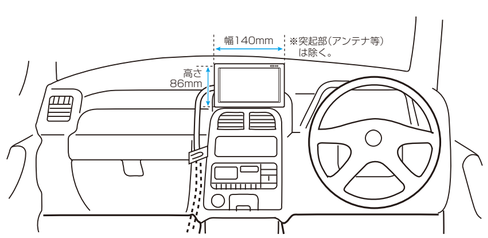
取付例① 上側に取り付けた場合



★印：上側に取り付ける場合は、ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのばしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

取付例② 下側に取り付けた場合



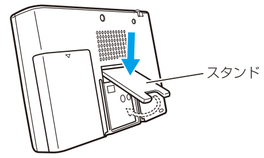


本体の取り付けかた（1）

車載用取付キット一式

スタンドベース［661 131 8664］	コードクリップ［661 109 5169］	タッピングビス（M4×12）［411 191 1200］	クッション材［661 109 5176］	クリーナー［661 109 3622］
1個	3個	3本	1個	1枚

■本体うしろ側のスタンドは、必ず閉じた状態でご使用ください。閉じていない状態で取り付けを行なうと交通事故やけがの原因となります。

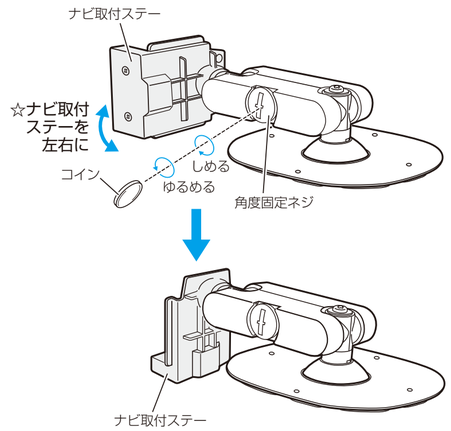


- スタンドは、"カチッ"と音がするまで押してください。
- スタンドについては、別冊の取扱説明書 「スタンドについて」42ページをご覧ください。
- VICSを受信するには、付属のスタンドベースに本体を取り付けないと受信することはできません。

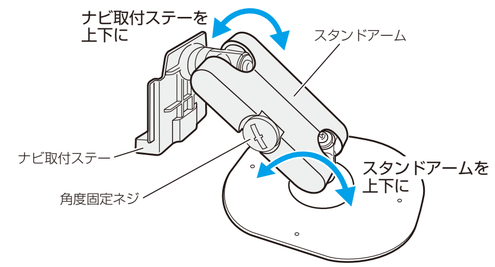
手順1. ナビ取付ステーとスタンドアームの角度調整をする

※このイラストは角度調整をイメージさせるための一例です。

① 角度固定ネジをゆるめてナビ取付ステーの向きをイラストのように変える。

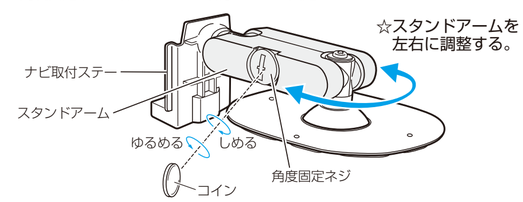


② スタンドアームとナビ取付ステーの上下位置および角度を調整する。



③ スタンドアームの方向（左右）を決める。
- 調整後、角度固定ネジを締めつけて固定してください。

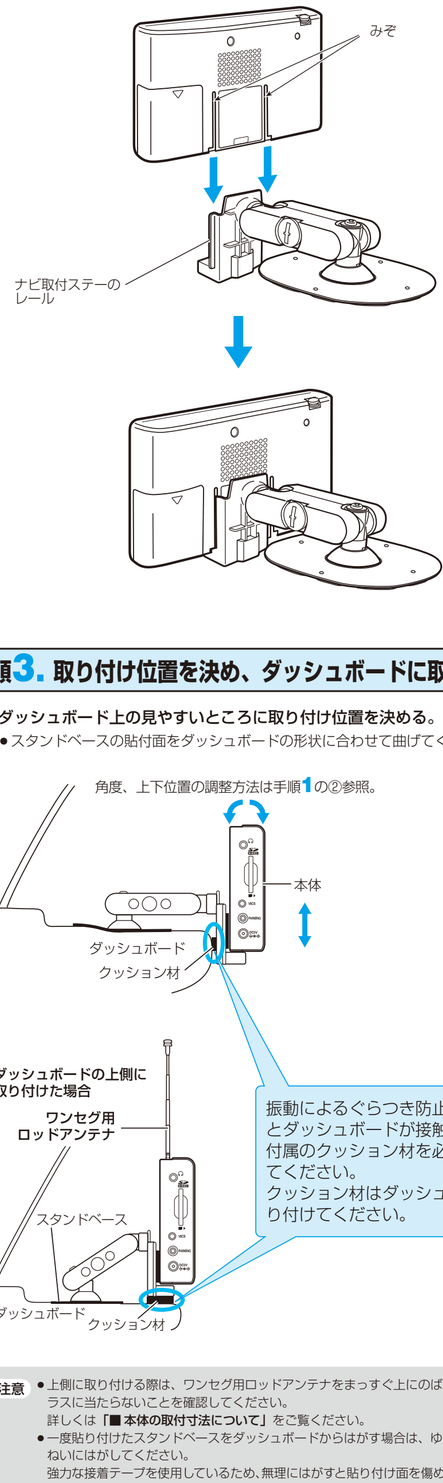
※角度固定ネジを締めるとナビ取付ステーも固定されます。



★印 ナビ取付ステーとスタンドアームを左右に調整するときは、"カチッ"と音がしたことを確認してから角度固定ネジを締めてください。

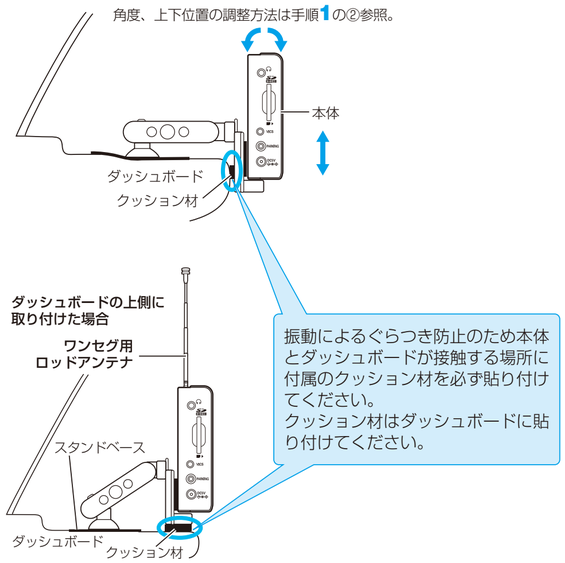
手順2. ナビ取付ステーに本体を取り付ける

① 本体裏面のみぞをナビ取付ステーのレールに合わせて、カチッと音がするまで入れる。



手順3. 取り付け位置を決め、ダッシュボードに取り付ける

① ダッシュボード上の見やすいところに取り付け位置を決める。
- スタンドベースの貼付面をダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。



⚠注意
- 上側に取り付ける際は、ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのばしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。
  詳しくは「■ 本体の取付寸法について」をご覧ください。
- 一度貼り付けたスタンドベースをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、ていねいにはがしてください。
  強力な接着テープを使用しているため、無理にはがすと貼り付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- 有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）は使用しないでください。

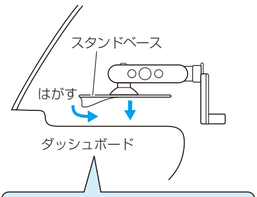
本体の取り付けかた(2)

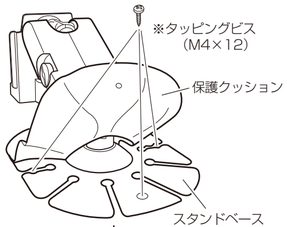
■ スタンドベースを貼り付ける前に必ずお読みください。
- 必ず付属のクリーナーで貼付場所をきれいに拭き、完全に乾燥してから貼り付けてください。
- 気温が低い(20度以下の)場合は、車内ヒーターで車内を暖めてください。
- スタンドベースの粘着面全体を上からしっかりと押さえて貼り付けてください。全面で貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおすと粘着力が弱くなります。
- 貼り付け直後は接着力が弱いため、必ず24時間以上、スタンドベースのみの状態で放置してください。
- ダッシュボードからはがす場合、強力な粘着テープを使用しているため、ダッシュボードを傷めたり、ダッシュボードが破れたりすることがあります。

② **本体をナビ取付ステーより外し、スタンドベースの裏面のシートをはがし、位置決めした場所(ダッシュボード)にしっかりと押さえて貼り付ける。**

※本体の取り外しかたは、下記手順 **4** 参照。

スタンドベースはダッシュボードの形状にあわせて粘着面全体が貼り付けれるように曲げてください。





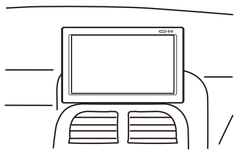
- 接着面全体を上からしっかりと押さえる
- 本体を装着せず24時間以上放置する

※この場合、ダッシュボードに穴があきますのでご了承ください。

※ダッシュボードの形状／材質によっては両面テープだけでは強い接着力が得られないので、スタンドベース上面の保護クッションを一度めくり、付属のタッピングビス3本を使用してしっかりと固定してください。固定後、保護クッションを戻してください。

手順4. 本体をスタンドベースに取り付ける

① 裏面の手順 **2** を参考に本体を取り付ける。

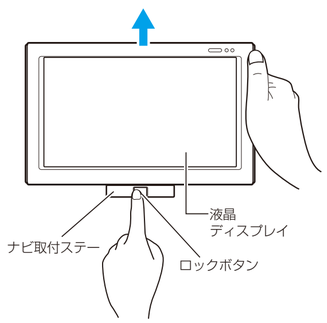


※スタンドベースの角度固定ネジはしっかり締めつけてください。締めつけが弱いと、お車の振動などでネジがゆるみ、本体の取り付け角度が変わるおそれがあり危険です。

お願い スタンド各部のネジやビスのゆるみ、スタンドベースの両面テープがはがれそうになっていないかなど、定期的に点検してください。

本体をナビ取付ステーから外す場合

- ナビ取付ステーのロックボタンを押しながら本体を上向きにスライドさせてください。

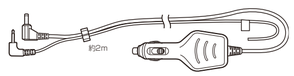


⚠注意 液晶ディスプレイを持って 、本体を取り付けたり 、取り外したりしないでください。故障の原因になります。

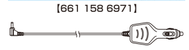
パーキングブレーキ接続ケーブル・12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルを接続するには

走行中(運転中)の操作は、前方不注意となり、危険です。本機では、お客様の安全を守るため、走行中の操作を制限しています。走行中か停車中かを判断するために、パーキングブレーキ接続ケーブルを接続します。
パーキングブレーキ接続ケーブルを正しく接続していないと、停車中でも走行中と同様に操作が制限されます。

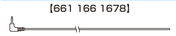
パーキングブレーキ接続ケーブル・12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル



12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブル
【661 158 6971】



パーキングブレーキ接続ケーブル
【661 166 1678】



クリップ
【661 143 8232】

⚠注意 **エンジンを切ってもカーシガーライターの電源が切れない場合は、車のカーシガーライター接続ケーブルを外してください。**
※定期的にゆるみや欠けなど、異常がないか確認してください。

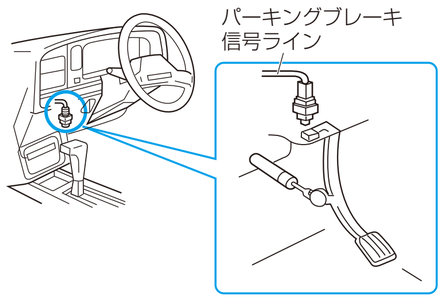
セルフロックコネクター
【632 635 1116】

定期的にプラグ先端のゆるみや欠けなど、異常がないか確認してください。
プラグ先端に異物が付着したりゆるみが発生すると、接触不良により発熱し火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

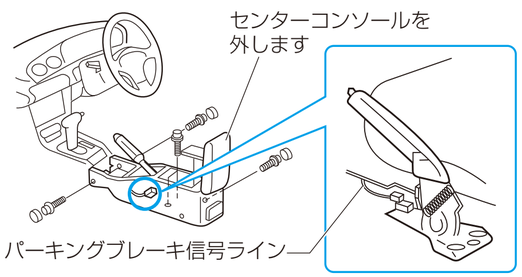
⚠注意 一部車種によって取り付けできない場合があります。
取り付けできない場合は、販売店にご確認ください。

手順1. パーキングブレーキ信号ラインの位置を確認する

●パーキングブレーキがフットブレーキの場合
(例)



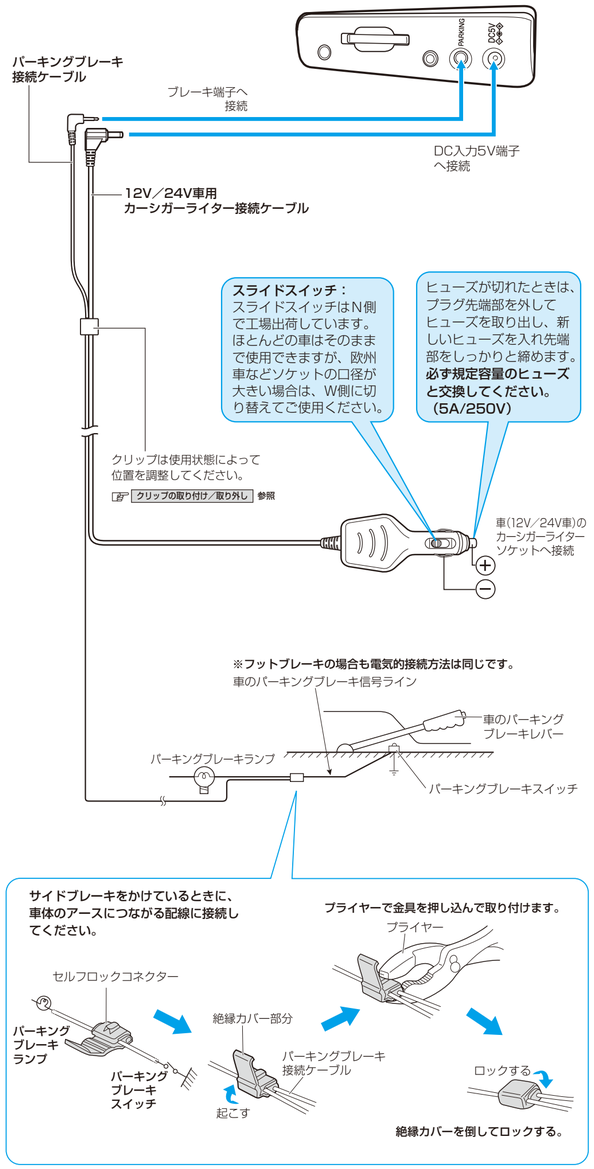
●パーキングブレーキがハンドブレーキの場合
(例)



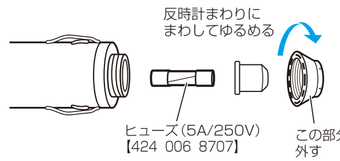
※車種によって異なります。詳しくは、お車をお買い上げのカーディーラーにご相談ください。

手順2. 配線する

⚠警告 パーキングブレーキ接続ケーブルを接続するときは、パーキングブレーキを引いて、エンジンを切って行なってください。車が動いて、事故の原因になります。



ヒューズを交換するときは…



接続確認について 取扱説明書「接続確認をする」148ページ参照

パーキングブレーキ接続ケーブルと12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルを接続後、パーキングブレーキ接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

① 車のパーキングブレーキをかける。
② メニュー ボタンをタッチし、情報 ボタンをタッチする。
③ 車両センサー ボタンをタッチする。
④ 接続確認画面で、パーキングブレーキが“ON”になっていることを確認する。
※ “OFF” になっているときは、車のパーキングブレーキをかけているか、またはパーキングブレーキ接続ケーブルが正しく接続されているか再度確認してください。
⑤ 現在地 ボタンをタッチする。
：現在地の地図画面に戻ります。

■ 操作や機能の制限について

- 安全のため、パーキングブレーキを引かないと、ワンセグを見たり、メニューの操作をすることはできません。
- パーキングブレーキ接続ケーブルを正しく接続していなと、VICSの機能が使えません。車のパーキングブレーキ信号ラインが細い場合、接続が不十分になり正しく動作しないことがあります。
- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやバックランプ、ホーン、ウィンカーなどの電装品が正しく動作するか確認してください。

走行中は安全のため次の表のように、操作や機能が制限されます。

主な操作・機能	走　行　中	停車中 ※2
メニュー (ナビゲーション)	△※1	○
クイック機能 (ナビゲーション)	△※1	○
スクロール (ナビゲーション)	△ (地図をタッチするたびに一定量だけ移動します。)	○
ワンセグ (録画中も含む)	△※3 (映像が出ず音声のみ)	○
録画再生	△※3 (映像が出ず音声のみ)	○
音楽再生	○	○
画像再生	○	○
ヘッドホン (音声出力)※4	×	○

○：制限なし／△：一部制限あり／×：使用不可
※1 走行中操作できない項目は暗くなります。
※2 停車中とは、停車しパーキングブレーキを引いた状態です。
※3 走行中でも音声は出ます。
※4 ヘッドホン(市販)接続時

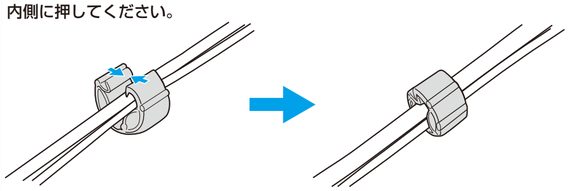
クリップの取り付け／取り外し

12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルとパーキングブレーキ接続ケーブルを束ねる場合、付属のクリップを使用して束ねてください。

クリップ
【661 143 8232】

取り付ける場合

クリップに12V／24V車用カーシガーライター接続ケーブルとパーキングブレーキ接続ケーブルを入れ、“カチッ”と音がするまでクリップの両側を内側に押してください。



取り外す場合

クリップの合わせ面に爪などを引っかけて、外側に開いてください。